

人文・社会科学系の書籍を中心に刊行している専門図書の出版社

< 2016年6月刊行 >



**「衣食足りて礼節を知る」は誤りか**  
戦後のマナー・モラルから考える  
大倉幸宏著  
前作『「昔はよかった」と言うけれど』に続く第2弾。戦後から現在までの生活風景を新聞記事や写真を基に考察し、日本人のマナー・モラルの変遷を読み解く



**地域産業の「現場」に行く 第9集 誇りと希望と勇気の30話**  
地域発「新たな方程式」の創出  
関満博著  
「頑張れば成功する」という一元一次方程式の時は過ぎ、成熟化の中で多様性と質を追求すべき今、地域産業に求められるものは。



**「ういろう」にみる小田原**  
早雲公とともに城下町をつくった老舗  
深野彰編著  
室町時代の小田原は、早雲公が遷都を考えていたのかと思うほどの文化的先進都市だった！  
「ういろう」の歴史からその豊かさに迫る。



**版画でたどる万葉さんぽ**  
恋と祈りの風景  
宇治敏彦著  
みそひともじに細やかな情をのせてやりとりした古のまごころと文学的素養を、著者による味わい深い版画・ペン画とともに辿る

< 2016年7月刊行 >



**新装版 バルト海のほとりの人びと**  
心の交流をもとめて  
小野寺百合子著  
『ムーミン』などの翻訳者として知られる小野寺百合子が北欧への思いを綴る。絵本をこよなく愛し、平和を求め続け、激動の時代を生き抜いたその原点とは。



**東川町ものがたり**  
町の「人」があなたを魅了する  
写真文化首都「写真の町」東川町編 編集実務：吉里演子  
大雪山麓、写真文化首都「写真の町」東川町が総力を結集。人口8,000人、国道・鉄道・上水道のない町の「凄さ」に驚く！



**[増補版]道の駅／地域産業振興と交流の拠点**  
関満博・酒本宏編  
東日本大震災後に注目が高まった「防災拠点としての機能」を含め、道の駅の進化／深化と新たな可能性を展望

**動物・人間・暴虐史**  
“飼い貶し”の大罪、世界紛争と資本主義  
デビッド・A・ナイバート著 井上太一訳  
動物抑圧に始まる暴力の世界史。文明発展の歩みを批判的に捉え直し、瓦解に向かう資本主義社会の超克をめざす。

**ペルーの異端審問**  
フェルナンド・イワサキ著  
発禁が先か、著者の破門が先か。芸術性と不敬でかのバルガス・リヨサを唸らせた奇才の抱腹絶倒の問題作、待望の本邦初訳！